



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年3月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年3月19日(火)
午後3時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 3月26日の「てんかん啓発の日」に合わせて
パープルライトアップとてんかん啓発展を実施します(資料1)
- 2 渋川市内の各保育所等において課題となっている保育士の人材不足を解消するため
総合的な取り組みを行います(資料2)
- 3 渋川市内から東京圏にある大学等に通う学生を応援する
「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を実施します(資料3)
- 4 地域おこし協力隊の現役隊員とOBが活動成果を報告する展示会を開催します
(資料4)
- 5 3月23日(土)に「SL／ELぐんま伊香保」運行記念イベントを開催します
(資料5)
- 6 渋川市北橘歴史資料館企画展「渋川古代探訪」を3月20日(水・祝)から
開催します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和6年3月26日(火) 午後1時～
場所：市役所本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月18日(月)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
3月19日(火)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
	15:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
3月20日(水)	10:00	上信自動車道吾妻西バイパス開通記念式典	東吾妻町岩下地内	土木管理課
3月21日(木)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
3月22日(金)	10:00	小学校卒業式	小野上小学校	学校教育課
	16:30	令和5年度群馬県民スポーツ大会冬季大会兼第62回群馬県都市対抗スケート競技大会渋川市優勝報告会	市役所本庁舎	スポーツ課
3月23日(土)	10:00	7町合同防災訓練	辰巳町公園	危機管理室 政策戦略課
	10:00	(遅れて参加)SL/ELぐんま伊香保運行記念イベント	JR渋川駅前	
3月24日(日)	12:00	白井音楽教室60周年記念演奏会	金島ふれあいセンター	秘書室
3月25日(月)	10:00	3月市議会定例会:表決、閉会	議場	議会事務局
3月26日(火)	10:00	半田こども園卒園式	半田こども園	こども支援課 政策戦略課
	10:00	庁議	市役所本庁舎	
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
	16:30	群馬県商工会議所連合会及び渋川商工会議所による要望に対する回答書の提出	渋川商工会議所	商工振興課

資料1

3月26日の「てんかん啓発の日」に合わせて パープルライトアップとてんかん啓発展を実施します

渋川市は、共生社会の実現に向けた取り組みとして、「てんかん」という病気の理解促進を目的に、3月26日の「てんかん啓発の日パープルデー」に合わせて、国立病院機構渋川医療センターと協力し、伊香保温泉石段だんだん広場等のパープルライトアップとてんかん啓発展を実施します。

1 「てんかん啓発の日パープルデー」とは

2008（平成20）年に、カナダに住む当時9歳の少女が、病気に対する偏見や誤解に悩み、てんかんについて知ってもらいたいと考えたことをきっかけに、カナダのノバスコシアてんかん協会がその思いを理解し、3月26日を「てんかん啓発の日パープルデー」と制定しました。

「てんかんを持つ人を一人ぼっちにしない」という思いを込めて「紫色のもの」を身に着け、てんかん患者を応援するイベントで、国内においても活動の輪が広がっています。

2 概 要

群馬県で唯一のてんかん診療地域拠点病院である国立病院機構渋川医療センターと協力し、渋川スカイランドパーク遊園地と伊香保温泉石段だんだん広場をシンボルカラーのパープルライトで彩ります。

また、てんかんやパープルデー、渋川医療センターのてんかん支援拠点病院としての役割を紹介する、てんかん啓発展を開催します。

3 内 容

（1）パープルライトアップ

- ・渋川スカイランドパーク遊園地（観覧車）

期 間 令和6年3月22日（金）～25日（月） 午後6時～9時

- ・石段だんだん広場

期 間 令和6年3月26日（火） 日没（午後6時頃予定）～9時

（2）てんかん啓発展

期 間 令和6年3月21日（木）～27日（水） 午前8時30分～5時15分
（土・日曜日は除く）

場 所 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

内 容 てんかんやパープルデー、渋川医療センターのてんかん支援拠点病院としての役割などを紹介します

(3) 渋川市職員によるバッジの着用

期 間 令和6年3月21日(木)～27日(水)

内 容 (一社) Purple Day Japanが
作成した缶バッジ300個を、渋
川医療センターから提供して
いただき、窓口等の職場に従事
する渋川市職員が身に付けて、啓
発活動を推進します。



4 主 催 国立病院機構渋川医療センター

5 協 力 公益財団法人渋川市まちづくり財団

6 周知方法 広報しぶかわ3月15日号及びホームページに掲載します

7 記者会見出席者

国立病院機構 渋川医療センター

特命副院長 てんかんセンター長 脳神経外科部長 高橋 章夫 氏

8 県内におけるパープルデーの取り組み

(1) 院内啓発活動

- ・渋川医療センター：3月20日(水)～29日(金)
- ・群馬大学医学部附属病院：3月21日(木)～27日(水)

(2) ライトアップ

- ・群馬県庁昭和庁舎：3月21日(木)～27日(水)
- ・前橋市臨江閣：3月21日(木)～27日(水)
- ・高崎白衣観音：3月21日(木)～27日(水)
- ・太田市外三町広域清掃組合クリーンプラザ：3月25日(月)～26日(火)

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人 (内線2105)

担当：D X・行政管理課 (電話0279-22-2396)

課長 小林 悟 (内線2450)

管理係長 萩原 健 (内線2440)

渋川市内の各保育所等において課題となっている保育士の 人材不足を解消するため総合的な取り組みを行います

渋川市は、教育・保育施設において課題となっている保育人材の不足を解消するため、保育人材バンクをはじめ、やりがいのある保育環境づくり、保育従事者の業務負担軽減など、総合的な取り組みを行います。

1 事業化の背景

国は、こども未来戦略において、75年ぶりの保育士の配置基準の改善、こども誰でも通園制度(仮称)の創設を掲げ、今後、更なる保育士等の人員配置が求められます。

保育現場における深刻な人材不足、低廉な給与水準、過酷な労働環境は、不適切な保育の誘発や保育の質の低下などの弊害につながり、全国的な問題となっています。

渋川市内の施設でも、保育人材の確保には苦慮しており、市には、「今後も保育士が続けられ、ゆとりのある生活を送るために、保育士の処遇の改善や労働環境の改善を全力でお願いしたい」との声が寄せられています。

これらの国の動向や保育現場の実状を受けて、事業化に至りました。

2 事業の全体像

渋川市は、保育従事者が渋川市教育・保育施設（市内の保育所、認定こども園、幼稚園）に勤務して、教育・保育にやりがいと魅力を感じることができ、丁寧に子どもと向き合えるようにするため、保育人材の確保、育成及び定着に向けた総合的な取り組みを次のとおり行います。

課題	戦 略	取 り 組 み
保育人材 確保	教育・保育施設の採用活動を支援して求人施設と求職者をつなぐ	○保育人材バンクの開設
	保育のやりがいと魅力を発信して保育への関心を高める	○保育の仕事体験ツアーの実施 ○保育の仕事やりがい魅力発信ブックの発行
保育人材 育成	保育従事者の研修受講機会を拡大して保育の質と専門性を高める	○保育人材育成講座の開催 ○保育スキル向上研修参加の推進
保育人材 定着	保育従事者の業務負担を軽減して余裕をもって保育に臨む	○保育支援者の配置

3 保育人材バンクの開設（職業安定法に基づく無料の職業紹介事業）

- (1) 所在地 こども支援課内（渋川市役所本庁舎1階）
- (2) 開始日 令和6年4月1日(月)
- (3) 運営日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(祝日及び年末年始を除く)
- (4) 取扱職種 保育士、幼稚園教諭及び保育教諭
- (5) 取扱業務 渋川市教育・保育施設において教育又は保育を行う業務
- (6) 運営流れ 求人及び求職の申込受付及び登録の後、求人条件と求職条件のマッチングを行って、求人登録施設に求職登録者を紹介します。
求人登録施設による面接試験などが行われ、合格した場合に雇用に至ります。不合格の場合は、改めてマッチングを行います。
- (7) その他 求人登録の情報を活用して、合同就職説明会の開催、指定保育士養成施設に対する求人登録情報の提供も行います。

4 保育の仕事体験ツアーの実施

- (1) 時 期 等 第1弾（令和6年8月上旬）：高校生と潜在保育士等
 第2弾（令和6年9月上旬）：指定保育士養成施設の学生
- (2) 体験施設 公立の渋川市教育・保育施設
- (3) 実施内容 施設見学、保育体験、現役保育士との対話
- (4) そ の 他 モデル校（高等学校、指定保育士養成施設）を選定して実施

5 保育の仕事やりがい魅力発信ブックの発行

- (1) 掲載内容 施設の特長、現役保育士インタビュー（保育士になろうとしたきっかけ、保育士になって良かったこと、子どもから学んだこと、保育士を目指す人に一言など）、保育のやりがい魅力の紹介など
- (2) 発 信 時期：令和7年1月
 配付：市内の高等学校、公共施設、教育・保育施設
 県内の指定保育士養成施設
 配信：渋川市ホームページ

6 保育人材育成講座の開催

- (1) 対 象 者 渋川市教育・保育施設に勤務する保育従事者
- (2) 時 期 等 第1回（令和6年7月）：保育中の子どもの安全確保
 第2回（令和7年2月）：不適切な保育の防止
- (3) 講 師 大学の教授等

7 保育スキル向上研修参加の推進

- (1) 対象研修 保育従事者の資質向上を図り専門性を高める研修
- (2) 対象経費 外部研修の参加費用及び内部研修の実施費用
- (3) 施 設 別 民間施設：補助金（1施設当たり基準額10万円）を活用して研修受講
 公立施設：計画的かつ積極的な研修受講

8 保育支援者の配置

- (1) 人材要件 保育士の資格及び幼稚園教諭の免許状を有しない者ほか
- (2) 対象業務 保育士の負担軽減に資する保育周辺業務（消毒、清掃、配膳など）
- (3) 施 設 別 民間施設：補助金（1施設当たり月額基準額10万円）を活用して配置
 公立施設：会計年度任用職員の雇用やシルバー人材センターへの委託により配置

9 予 算 額 4,022万1千円（令和6年度一般会計予算案に計上しています）

10 そ の 他

保育人材バンク（職業安定法に基づく無料の職業紹介事業で本市と同じ取扱職種の業務）の運営は、群馬県が群馬県社会福祉協議会に委託して行うぐんま保育士就職支援センターに次いで、県内2例目です。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝（内線1150）
担当：こども支援課（電話0279-22-2415）
課長 藤井 成行（内線1201）
保育幼稚園係長 後藤 景太（内線1244）

渋川市内から東京圏にある大学等に通う学生を応援する 「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を実施します

渋川市は、令和6年度の新規事業として、東京圏にある大学等に渋川市内から交通機関を利用して通う学生を対象に、通学に係る費用を補助する「渋川市定住促進県外通学学生応援事業」を実施します。

1 概 要

高校卒業後に進学する渋川市内在住の若者が、市内に留まることによって、渋川市に定住することを促進するため、東京圏にある大学等に市内から交通機関等を利用して通う学生に対し、通学に係る費用を補助します。

※「東京圏」とは、東京都、神奈川県、千葉県のことです

※「大学等」とは、学校教育法が定める大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校のことです

2 補助対象者

次の（１）から（３）の要件を全て満たす大学生等を扶養する人

- （１）補助金申請時に渋川市内に居住している人
- （２）補助金申請日の属する年度の末日において25歳以下であること
- （３）通学定期券を利用して大学等に通学していること

※自己により生計を立てている大学生等の場合は、大学生等本人が対象者となります

3 補助対象期間

令和6年4月以降において、補助対象となる大学等に通学を開始した日の属する月から学校教育法で定める修業年限以内とします。

4 補助対象経費

補助対象期間に支出した通学定期券の購入金額にかかる交通費

5 補助対象額

1 会計年度につき、次の（１）又は（２）の金額を上限とし、購入金額が上限に満たない場合は、購入金額全額を補助します。

- （１）新幹線利用：月額1万円
- （２）在来線利用：月額5,000円

※百円未満の端数が生じた場合は切り捨て

6 申請方法

次の申請書類等を市民協働推進課へ持参又は郵送してください。

- (1) 申請書（様式）
- (2) 申請者世帯全員の住民票
- (3) 学生証の写し又は在学証明書
- (4) 通学定期券の写し又は通学費用が分かるもの
- (5) 申請者の納税証明書（市税に未納額のない証明用）

7 予算額 540万円（令和6年度一般会計予算案に計上しています）

8 周知方法 市ホームページ等で周知します。

9 その他

群馬県内では館林市において同様の支援を実施しています。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2401）

課長 小野 宏仲（内線4314）

移住定住支援係長 本郷 睦代（内線2181）

資料4

地域おこし協力隊の現役隊員とOBが 活動成果を報告する展示会を開催します

渋川市は、市外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図るとともに地域の活性化を促進するため、地域おこし協力隊を委嘱しています。

現在市内で活動している隊員とOBが、これまでの活動の成果を報告する展示を行います。

1 趣 旨

渋川市は、市外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図るとともに地域の活性化を促進するため、現在までに5人の地域おこし協力隊を委嘱しました。委嘱された隊員は、移住者の視点で新しい感性や刺激を地域に持ち込み、地域活性化のために精力的に活動を行っています。

そこで、これまでの活動の成果を地域の皆さまに報告するため、活動の中で撮影した写真や創作こけしの作品、活動内容に関するパネル等の展示会を行います。

2 期 間 令和6年3月21日(木)～27日(水) 午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日は除く

3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール
※「てんかん啓発展」と同時開催

4 出 展 者

長沼 未希さん 任期：令和元年8月1日 ～令和6年3月31日	SNS等による市の魅力発信や各種行事等への積極的な支援などを実施 退任後はNPO法人マチイロ理事及び個人事業主として市内で活動予定
大野 雄哉さん 任期：令和元年9月2日 ～令和6年3月31日	創作こけしの分野で、製作技術や知識の習得、創作こけしの魅力発信などを実施 退任後は創作こけし作家として市内で独立開業予定
阪口 壮汰さん 任期：令和2年4月1日 ～令和5年3月31日	創作こけしの分野で、製作技術や知識の習得、創作こけしの魅力発信などを実施 令和5年11月に市内で創作こけし「壮々房」を開業
星野 隼人さん 任期：令和3年12月27日 ～令和6年12月26日(予定)	空き家利活用推進の分野で、所有者と移住希望者とのマッチングや、魅力ある空き家情報の発信などを実施 退任後は市内で起業予定

5 その他

これまで委嘱された5人の隊員のうち2人が昨年度までに退任し、市内に居住して活躍しています。現在活動している3人の隊員も本年中の任期終了を控え、退任後も市内での活動を予定しています。また、来年度、新たに6名の隊員を募集予定です。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

政策創造係長 坂本 和馬（内線2422）

資料5

3月23日(土)に「SL／ELぐんま伊香保」 運行記念イベントを開催します

令和6年3月23日(土)に運行される「SL／ELぐんま伊香保」に合わせて、駅前イベント「渋川駅前 nin dakari(にんだかり)」を開催します。

1 概 要

鉄道の利用促進や観光振興をはじめとする地域活性化、郷土に対する愛着の醸成を図ることを目的に、東日本旅客鉄道による「SL／ELぐんま伊香保」の運行に合わせて、駅前イベント「渋川駅前nin dakari(にんだかり)」を開催します。

令和6年2月17日に続き2回目となる今回も、子どもから大人まで誰もが楽しめるよう、地元の飲食店や体験ブースが出店します。

また、渋川駅で下車した人に配布する観光パンフレットと合わせて、渋川駅前にある渋川地区名産品センター（しぶさん）のお買い物に使用できるお買い物割引券200円分をプレゼントします（限定500セット）。

2 日 時 令和6年3月23日(土) 午前10時～午後4時

3 場 所 J R 渋川駅前

4 渋川駅前イベント「渋川駅前 nin dakari(にんだかり)」

(1) 飲食ブース

【マーキー・ムーン】 ・おでん	【earth cafe】 ・フライドポテト	【frutta fredda】 ・スープ、菓子
【子持産業振興】 ・いちご販売	【子持食品】 ・もつ煮	【庵古堂】 ・焼きまんじゅう
【JUNK SWEET】 ・チョコバナナ	【インバーハウス カラオケさくら】 ・焼きそば	

(2) 体験ブース

【J R 渋川駅】 ・ぬりえ体験 ・よろず相談会	【渋川市観光課】 ・射的体験	【地域おこし協力隊 大野隊員】 ・こけしの絵付け
【渋川市まちづくり財団】 ・ボッチャ体験 ・1分間チャレンジゲーム ・竹灯籠づくり	【関東学園大学 地域活性協力隊(RCV)】 ・渋川産「和みリゾット」 P R	

5 SL／EL ぐんま伊香保について

(1) 編 成 C61-20+旧型客室+EL

(2) 運行時間

①SL ぐんま伊香保1号(高崎駅発:午前9時56分→渋川駅着:午前10時35分)

②EL ぐんま伊香保2号(渋川駅発:午前11時28分→高崎駅着:午後0時16分)

③SL ぐんま伊香保3号(高崎駅発:午後2時10分→渋川駅着:午後2時50分)

④EL ぐんま伊香保4号(渋川駅発:午後3時15分→高崎駅着:午後4時04分)

(3) 予約方法

東日本旅客鉄道ウェブサイトから予約してください。



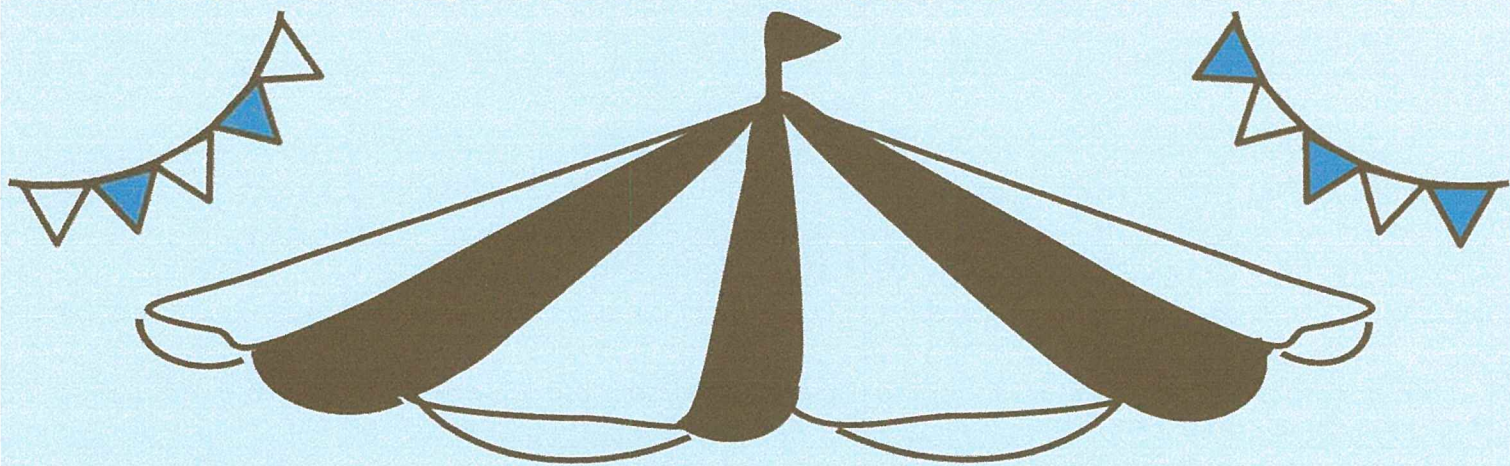
■問い合わせ先

総合戦略部 部長 佐藤 多恵子(内線2410)

担当:政策戦略課(電話0279-25-8554)

課長 鴻田 吉史(内線2420)

政策創造係長 坂本 和馬(内線2422)



渋川駅前 nin dakari

2024.03.23 (sat)

10:00～16:00

渋川駅にて

よろず相談会開催！

JREPOINTやモバイルSuica等
ご相談お待ちしております！

当日は渋川駅へお気軽にお越しください♪



開催場所

渋川駅改札前



©JR東日本高崎支社

---注意事項---

- ♪ 掲載の内容は、2024年3月現在の情報です。
- ♪ 写真やイラストは全てイメージです。

- ♪ 開催時間は天候等により変更する場合がございます。
- ♪ 駐車場の用意はありません。公共交通機関等をご利用ください。



渋川駅前 nin dakari 出店者情報

食

- おでん (マーキー・ムーン)
- フライドポテト (earth cafe)
- 菓子等 (frutta fredda)
- いちご販売 (道の駅こもち)
- もつ煮 (子持食品)
- 焼きまんじゅう (庵古堂)
- チョコバナナ (JUNK SWEET)
- 焼きそば (インバーハウス カラオケさくら)

感

- めりえ体験
- よろず相談会
- 射的体験
- こけしの絵付け (地域おこし協力隊 大野隊員)
- ホッチャ体験 / 1分間チャレンジゲーム / 竹灯籠づくり(※) (渋川市まちづくり財団)
※6月開催の「あじさいまつり」(小野池あじさい公園)で展示します
- 渋川産「和み」リゾートPR
(関東学園大学 地域活性協力隊(RCV))

SL/ELぐんま伊香保の運行時間

SLぐんま伊香保1号	高崎発: 9:56	渋川着: 10:35
ELぐんま伊香保2号	渋川発: 11:28	高崎着: 12:16
SLぐんま伊香保3号	高崎発: 14:10	渋川着: 14:50
ELぐんま伊香保4号	渋川発: 15:15	高崎着: 16:04



ご予約はこちら
(JR東日本HP)

【主催】 渋川市 / JR渋川駅 / 渋川市まちづくり財団
渋川にぎわいプロジェクト

《問い合わせ先》 0279-25-8554 (渋川市政策戦略課)



渋川市HP

渋川市北橋歴史資料館企画展

「渋川古代探訪」を3月20日(水・祝)から開催します

渋川市内の遺跡の大半を占める奈良時代や平安時代の遺跡についてスポットを当てた企画展「渋川古代探訪」を、3月20日(水・祝)から6月16日(日)まで、渋川市北橋歴史資料館で開催します。

1 概 要

渋川市の遺跡では、金井東裏遺跡や黒井峯遺跡、中筋遺跡、宮田諏訪原遺跡のように、榛名山の火山噴火と関連するものが注目を集めています。ほかには、縄文時代の瀧沢石器時代遺跡や弥生時代の樽遺跡などのように、考古学の学史的に著名な遺跡もあります。

しかし、市内の遺跡の大半を占めるのは、実は奈良時代や平安時代といった古代の遺跡です。そこで、今まであまりスポットの当たることのなかった古代の遺跡に、大きく焦点を当てた企画展を、渋川市北橋歴史資料館で開催します。

- 2 開催期間** 令和6年3月20日(水・祝)～6月16日(日) 午前9時～午後5時
 ※月・火曜日(4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は除く)及び3月21日(木)は休館
 ※令和6年4月3日(水)(4月1日・2日は休館)から開館時間に変更になる場合があります。来館の際は、市ホームページで確認するか電話で北橋歴史資料館へ問い合わせてください

- 3 会 場** 渋川市北橋歴史資料館(渋川市北橋町真壁246番地1)

4 展 示 品

八木原元宿南遺跡の奈良三彩のほか、市内各所で出土した墨書土器や腰帶具(腰飾り)、白井二位屋遺跡出土の銅製のはかり皿などを展示します。

- 5 入 館 料** 大人＝200円
 高校生・大学生＝100円
 ※65歳以上、中学生以下、障害者手帳を持っている人と付き添いの1人は無料

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉(内線4930)

担当：文化財保護課(電話0279-52-2102)

課長 太田 国男(内線8245)

文化財保護活用係長 横田 美由紀(内線8245)

令和5年度

渋川市北橘歴史資料館
企画展



渋川古代探訪

令和6年
3月20日 水
6月16日 日

会場 渋川市北橘歴史資料館
(渋川市北橘町真壁246番地1)



休館日

月・火曜日(4月29日(祝)、5月6日(祝)は除く)、3月21日(木)

入館料

大人200円、大高生100円

(中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料)

開館時間

午前9時から午後5時

※令和6年4月1日から開館時間に変更になる可能性があります。ご来館の際は渋川市ホームページでご確認いただくか北橘歴史資料館へお問い合わせください。



お問い合わせ

渋川市教育委員会文化財保護課

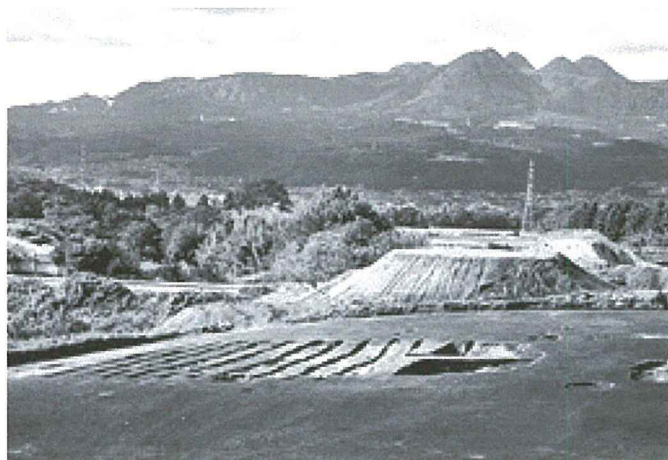
TEL : 0279-52-2102 FAX : 0279-52-4008

渋川市の遺跡では、金井東裏遺跡や黒井峯遺跡・中筋遺跡や宮田諏訪原遺跡のように、榛名山の火山噴火と関連するものが耳目を集めています。

しかし、市内の遺跡の大半を占めるのは、実は奈良時代や平安時代など古代の遺跡です。この時代の遺跡は、それぞれの遺跡単体では地味ですが、遺跡どうしのまとまりや時系列を追いかけていくと、実に面白い内容が見えてきます。また、さまざまな遺物を通して、古代の人々の暮らしについても、垣間見えてきます。

渋川は、県内最北の条里制地割と言われる有馬条里が造られたり、金井製鉄遺跡では最新式の竪型炉を用いて製鉄が大規模に行われ、群馬郡内の主要な鉄供給源となったりした場所です。国府より北の地の中心地の1つでした。

今回は、こうした古代渋川の歴史をさぐっていく展示を行います。



資料館への案内

渋川市北橋歴史資料館

〒377-0062 渋川市北橋町真壁 246 番地 1

TEL : 0279-52-4094 / FAX : 0279-52-2041

交通案内

車 / 関越自動車道渋川伊香保インターから 15 分

バス / JR 上越線・吾妻線の渋川駅から日本中央交通バス北橋循環（北回り）15 分、
「歴史資料館」前下車徒歩 2 分



案内図

